
「非筋層浸潤性膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法における NANOG の役割」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

1990年1月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、非筋層浸潤性膀胱癌と診断され、BCG膀胱内注入療法を施行された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

非筋層浸潤性膀胱癌の治療法の一つとして、bacillus Calmette-Guérin (BCG) 膀胱内注入療法があります。しかし、その効果は約50%にとどまっております。さらにBCG膀胱内注入療法は膀胱の刺激症状（頻尿、排尿時痛など）の副作用が問題となっており、投与前にBCGの治療効果を予測することが重要と考えます。現時点では、BCGの効果を実験的に予測する方法は確立されておらず、実際に患者さんに投与してみないと効果がわかりません。この研究では、幹細胞分子の一つであるNANOGに着目しました。NANOGは通常未分化胚細胞において高度に発現し、胚細胞が分化するにつれ発現が減少する性質があり、胚細胞の維持に重要とされています。さらにさまざまな癌で治療抵抗性の予測マーカーとしても知られています。本研究ではNANOGの発現がBCG膀胱内注入療法の治療予測マーカーとしての可能性を検証します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年06月06日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

利用又は提供する試料として、診断、治療のためにすでに摘出された検体を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である山下高久が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

非筋層浸潤性膀胱癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

総合医療センター病理部 医師 講師 山下 高久
総合医療センター病理部 医師 教授 東 守洋
総合医療センター病理部 医師 教授 百瀬 修二
総合医療センター病理部 歯科医師 助教 山崎 真美
総合医療センター病理部 医師 助教 今田 浩生
総合医療センター病理部 医師 助教 高柳 奈津子
総合医療センター病理部 医師 助教 清水 朋実
総合医療センター病理部 歯科医師 助教 沢田 圭佑
総合医療センター病理部 医師 助教 山本 渉
総合医療センター病理部 医師 助教 村上 千明
総合医療センター病理部 医師 助教 永田 真莉乃
総合医療センター病理部 医師 助教 菊地 由季菜
総合医療センター病理部 臨床検査技師 松野 和子
総合医療センター病理部 臨床検査技師 課長補佐 大澤 久美子
総合医療センター病理部 臨床検査技師 係長 大野 優子
総合医療センター病理部 臨床検査技師 主任 青木 智章
総合医療センター病理部 臨床検査技師 主任 木内 恭子

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

5. 試料・情報の提供方法等について

埼玉医科大学総合医療センターの資料、情報を使用するために他の施設から資料・情報の提供を受けることはありません。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター 病理部

TEL : 049-228-3522 (直通)

(平日 9時～17時)

○研究課題名：非筋層浸潤性膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法における NANOG の役割

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 病理部 山下高久